

市民の70%は

不安に思っています。

08.3実施「市民アンケートより」



原子力空母のメンテナンス工事で
1トンの放射性廃棄物が
運び出された



約束違反

●原子力空母のメンテナンス作業で、一次冷却設備にかかわる作業を行ったと米軍は明らかにしました。これは重大な約束違反です。なぜなら、日米間の覚書「エドモープール」には、原子炉の修理は行わず、放射能を帯びた物質は原則として艦外に搬出しない、と書かれているのですから。

●明確な約束違反や小さな疑問にも、毅然とした態度で国や米軍に説明を求め、言うべきことは言う。これは安全対策の基本です。しかし、現状の市の姿勢はどうでしょう。国にもう言えない人では、市民は不安です。

安心して暮らせる町づくりには
国や米軍の話を伝えるだけの人ではなく、
しっかりとろ言える人が必要です。



住民の声を市政に!

●「市民の声を政治に反映してほしい」。
この当たり前な思いを実現するためには、
住民投票条例の制定が大切です。呉東
弁護士は、常設型の住民投票条例を提
案しています。

市民みんなの力で市政をつくる会

〒238-0004 横須賀市小川町19 小川町ビル2階 TEL.046-825-9844
ホームページ <http://kawaruyokosuka.web.fc2.com/> FAX.046-825-9866

市民の力で

変わる
横須賀

あなたは、どんな街に暮らしたいですか。



2009.5.15 第8号
市民みんなの力で市政をつくる会
〒238-0004 横須賀市小川町19 小川町ビル2階
TEL.046-825-9844 FAX.046-825-9866

「市民みんなの力で市政をつくる会」は4月27日に、「第一次マニフェスト」を発表しました。

1 地域循環経済による活性化

ムダな支出をカットし、地域経済・雇用改善・福祉に重点的に回し、市と市民が一体となって英知を集め、活性化を図ります。

2 市民をサポートする優しい市政

市民・専門家・行政によるセーフティネットを強化し、街に出て市民の緊急課題の解決をサポートします。住民の健康と福祉を守り、施策の後退を許しません。

3 徹底的なシステム改革

町の将来を市民が決められるように、常設型住民投票条例を制定します。市民参加による市政の徹底的なシステム改革を行います。

4 市政はもつと色々なことができる

市民の切実な問題（例えば通勤地獄、慢性渋滞）解決のため市民委員会をつくり、行政がバックアップします。市が市民の立場に立って、国政に対しても、国際的にも働きかけをします。

5 市の財政改革

巨大ハコモノは作らず。ムダな支出を削減。削減分は福祉等に充て、且つ借金構造にメス。

6 原子力空母母港見直しのためにあらゆる努力

市民の安全を最優先。原子力空母の母港撤回に向けた見直しのため、あらゆる選挙活動の追求。



政策も人任せにしないで、市民がそれぞれの現場から意見をよせ、呉東弁護士と一緒に、希望の持てる横須賀をつくるために第1次マニフェストを発表しました。

市民の 弁護士

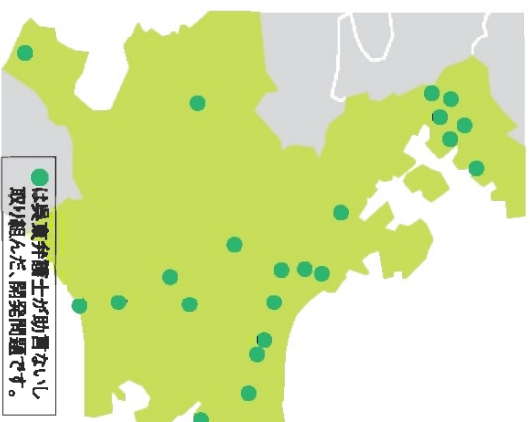
横須賀生まれの49歳。弁護士として15年。

趣味は
鉄道めぐり
そして、横須賀の
路地巡り。

●旅行好きが過ぎて、全国すべての市町村に行く目標を立て、昨年達成した「自治体マニア」。その過程で、各地域の現状とともに、町起こしの様々な取り組みを学び、現在は、横須賀のすべての路地を踏破すべく、市内を駆け巡っています。



「みどり」を守る住民運動でも「縁の下」の力持ちで働いています。



●横須賀の財産である緑を残すことは、将来の世代への私たちの責任。斜面地の開発・景観を無視した高層住宅・住環境の悪化。これらの問題を解決するために「生活環境を守りたい」「横須賀の緑を残したい」という住民の思いと一緒に、呉東弁護士は多くの開発問題に取り組み、成果を挙げてきました。湘南 鷹取・東浦賀・野比海岸・ハイランドetc. ●市のまちづくり関連条例の制定でも積極的な提案をし、具体的に市を動かしてきました。横須賀の緑と自然環境を今こそ大切に、そんな思いを、呉東弁護士とともに実現させましょう。

呉東正彦さんは、

多重債務で苦しむ人を助けるために大活躍している弁護士です。

多重債務者の救済

●1996年にクレジット・サラ金被害者の救済を目的として、横須賀で「しおさいの会」が発足しました。立ち上げに力を注いだ呉東正彦弁護士は、手弁当で全国を駆け回り、被害の実態を講演し、横須賀での無料相談会に参加しています。

●被害者救済の大きな前進となったグリーゾン金利撤廃の最高裁判決でも、呉東正彦弁護士は重要な働きをし、全国クレジットサラ金問題対策協議会から、03年、04年、06年に表彰を受けました。

「セーフティネット都市」の実現を

●生活が大変な今、苦しい人の生活を足元から支える縁の下の力持ちとして、弁護士の知恵と力を発揮します。



市民の立場で誠実に、おれずに15年